

令和 2年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R02年度	R03年度	R04年度
活動 指標	市民講座開催数	講座	目標	10.00	20.00	20.00
	広く市民に対し、様々な分野の講座を実施する。（令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、5月から講座を開始）		実績	7.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	延べ参加者数	人	目標	400.00	650.00	1,000.00
	令和3年度については、密を避けて、募集定員を半分にする。		実績	362.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	近年の長寿命化を背景に余暇の充実が求められており、市民の生涯学習に対する意欲が高まっている。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	公民館は、生涯学習の拠点であり、市民のニーズに応える魅力的な講座を開設・運営することによって、学びの機会を提供することが責務である。
	手段の妥当性	A 妥当である	生涯学習指導員を配置し、市民のニーズを把握し、市民が関心や興味を持つ講座内容に関する調査や研究を行って、開設する講座を決定している。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	生涯学習指導員が講師や関係機関と連携し、コスト的にも効率的に実施されている。
公平性	受益者の偏り	B どちらとも言えない	講座参加者は、中高年の女性の参加が多い傾向にあり、若年層、特に男性の参加者を増やすことが課題である。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	子育て関係や夏休み講座は、毎年少しずつ内容を変えたりして、定着している。参加者から要望されている講座も多い。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	少し趣向を変えて、新たな講座の開拓を試み、あまり公民館講座に来ていない若年層や男性層の参加を図っている。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
講座内容により、参加者（申し込み者）が多い講座と少ない講座があり、今後の課題としては、参加者が少ない講座を分析し、講座に関係する講師や関係機関と連携、参加者を増やす方法を考えていく必要がある。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
市民がどのような講座を望んでいるのか、ニーズの把握や講座の企画・検討などを行い、近隣の公民館と情報交換をしながら調査研究していく。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置 方向性の具体的内容 人生100年時代を見据え、市民の余暇活動の充実を図るため、生涯学習に対する幅広い年代の要望に応じられるよう、講座内容や曜日、開催地域に工夫をして、各種講座を実施していく。
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置 企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。